

平成26年度 鳥取大学地域学部入学試験問題

(前期日程)

小 論 文

(地域学部 地域政策学科)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は2ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は
必ず持ち帰ること。

【問題】

以下に示す<資料①><資料②>は、自治体の広域化と住民自治について述べた文献の一部である。これらを読んで問いに答えなさい。

<資料①>

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：北村亘『政令指定都市 百万都市から都構想へ』（中公新書、2013年）（脚注補充）

※一定規模以上の市に対し特有の重要に対応するため政令で指定して一般の市以上の権限を認める制度を都市制度といい、人口50万人以上で政令指定都市、人口30万人以上で中核市として指定される。

（問1）

<資料①>を参考に、自治体の広域化と都市内分権による住民自治拡充をめぐる課題について、200字以内で述べなさい。

他方、住民自治の意義と重要性を指摘し、その観点から自治体の広域化と住民自治の関係を論じる<資料②>のような見解がある。

<資料②>

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

出典：杉原泰雄『地方自治の憲法論「充実した地方自治」を求めて〔補訂版〕』（勁草書房、2008年）（一部助詞を補充）

（問2）

<資料①>と<資料②>を参考に、自治体の広域化と住民自治の関係、両者を調整する方策に対するあなたの考えを700字以内で述べなさい。

問題訂正

地域学部地域政策学科の小論文試験

(9時30分から11時30分)

問題訂正

1ページ

〈資料①〉の※で示した文の1行目

(誤) 重要

(正) 需要